

オオルリシジミ（九州亜種）

熊本県カテゴリー
絶滅危惧ⅠA類（CR）
環境省カテゴリー
絶滅危惧ⅠB類（EN）

Shijimiaeoides divinus asonis (Matsumura, 1929)

シジミチョウ科

選定理由 全国局限、県内局限、分布境界、模式産地、地域的孤立・希少

生息環境 阿蘇地方の野焼き・採草・放牧で管理されたクララの生育する明るい短草型草原

生息状況 県北地域、県央地域に分布している。阿蘇山内輪には以前は個体数が多かったが非常に減少した。牧畜産業の衰退、人工飼料の発達による草原の放置、観光地化により生息地が減少している。阿蘇の噴火や台風、採集圧での減少にも注意を要する。放牧、野焼きを取り入れた生息地の植生遷移の抑制が必要である。



撮影：八尋勇

生存への脅威 観光開発、自然遷移、野焼きの減少、農地開発、管理放棄、道路工事、捕獲・採集、自然災害、火山活動

特記事項 模式産地は阿蘇山。分布の南限は上益城郡山都町（旧蘇陽町）。多様性条例（指定希少野生動植物）。

※「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋

（県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>）